

小児集中治療コース 修練医カリキュラム

概要

小児集中治療修練医コースは、小児循環器集中治療病棟24床（PICU12床、NICU6床、GCU6床）に入室する重症心疾患患者の診療を通じて、小児心疾患の急性期管理を習得するコースである。

当院は、国内最大の小児心臓病診療施設であり、対象とする疾患は、新生児期から成人までの先天性心疾患の術前・術後急性期管理や重症心不全、重症不整脈、人工補助心臓や、心臓移植など多岐にわたる。2020年度は、小児開心術は173例行われ、入室患者は299例であった。

2023年4月より小児集中治療医の赴任により、集中治療科内に小児チームが立ち上がりHigh-intensity ICUとしての診療体制を整備し、小児心臓外科医、小児循環器科医とともに診療を行っている。教育・研究体制に関しても力を入れており、当研修プログラムを通じて集中治療医学会専門医取得に向けたサポートを受けられるとともに、今後の小児集中治療を担う人材へと成長する機会を提供できると考える。

研修対象および期間

研修対象：卒後6年目以降

小児科、麻酔科、救急科の専門医プログラム終了後

（小児循環器もしくは、小児集中治療、成人集中治療の経験がある方が望ましい）

研修期間：1-2年

個々の状況を踏まえた研修期間の設定については応相談

研修目標

Step 1 患者の管理ができる

- ・基本手技の習得
- ・患者の病態生理が理解できる
- ・患者の治療に必要な知識を自ら学ぶことができる

Step 2 患者の方針をマネージメントできる

- ・患者の病態に合わせた治療法をマネージメントできる
- ・他科と治療方針に関してディスカッションできる
- ・患者のリスクを適切に評価し、急変時対応ができる

Step 3 集中治療室のマネージメントができる

- ・集中治療室の入退室を適切に判断できる
- ・複雑な患者の方針を複数の科とディスカッションして決定できる
- ・医療安全対策や多職種での活動のリーダーシップをとれる

研修内容

(1) 臨床

- ・PICU入室患者の診療を指導医のバックアップのもとで行う
- ・朝夕のカンファレンスでのプレゼンやカンファレンスを通じて重症患者の管理方法を学ぶ
- ・習熟度に応じて、指導医のサポート下で当直業務にも従事する
- ・気管挿管や中心静脈カテーテル留置、エコー検査などの基本的手技を習得する

(2) 研究

- ・症例報告や自らのクリニカルクエスチョンに応じた臨床研究を行い、学会発表や論文文化を行う
- ・多施設共同研究にも参加し、集中治療のエビデンス構築に貢献する

(3) 教育

- ・レジデントや看護師へのレクチャーやシミュレーションを企画、担当し、自ら教育する役割を担う。
- ・抄読会や症例検討会、カンファレンスを通じて、最新の知識、エビデンスを習得する

当プログラムの特徴

- ・新しい研修プログラムであり、本人の希望や熱意に応じた研修が可能である。
- ・小児循環器疾患の集中治療に関しては、豊富な症例数であり、十分な研修を行うことが可能であるが、小児循環器以外の疾患に関しては経験することができないため、全国の PICU 施設と連携を取りながら、研修プログラムを運営する予定である。
- ・院内に集中治療科の成人チームが運営する心臓血管外科術後管理を行っている ICU も存在するため、希望者には、成人の集中治療管理を学ぶ機会を提供できる。